

# ヴェーダ

V E D A (ヴェーダとは  
サンスクリット語で  
“癒し”を意味します。)

地域の皆さん向けの広報誌

基本理念

共に歩む



基本方針

- 患者さんの人権と権利、そして思いを尊重します
- 安全で安心な急性期医療、がん医療、予防医療を推進します
- 救急医療の充実に努めます
- 地域の医療・介護・保健機関とつながる医療を行います
- 職員の働きがいのある職場を目指します

## 看護師の特定行為研修制度をご存じですか

特定行為研修管理委員会 内科担当部長 三輪 一博

看護師の特定行為研修制度は団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け今後の医療を支えるために、2015年10月に保健師助産師看護師法が一部改正され、手順書（医師・歯科医師が看護師に診療の補助を行わせるために、その指示として作成する文書）により一定の診療の補助を実施できる看護師を養成する制度です。この制度により、患者さんに対するきめ細やかなケアによる医療の質の向上や医療従事者の長時間労働の削減などの効果が期待されています。特定行為は看護師が行う医療行為のうち、実践的な思考力、高度かつ専門的な知識・技能が特に必要なものとして定められた21の特定行為区分、38の特定行為に整理されています。

当院では2017年8月に指定研修機関となり研修を開始しています。21の特定行為区分のうち、①創傷管理関連、②栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、③血糖コントロールに係る薬剤投与関連の3つの特定行為区分の研修を行っています。院内・院外から受講生を募り、2022年3月で第4期生の研修が修了予定です。修了生の医療機関等での役割や活動方法に決まった形はありません。それぞれの病院や在宅でのニーズに合わせて活動が行われています。

石川県内では6つの指定研修期間が連携して情報の共有や修了生の活動支援のため定期的にフォローアップ研修会を行っています。2022年1月には当院の修了生である山本恵美子看護師長より「糖尿病領域における実践報告」の内容で発表して頂きました。今後も地域の医療機関や訪問看護ステーションと連携をとりながら本制度のさらなる周知や医療ニーズに合った活動を進めて参りたいと考えています。何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

### 特定行為及び特定行為区分(38行為21区分)

特定行為区分	特定行為	特定行為区分	特定行為
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	創傷管理関連	褥(じよく)瘡(そう)又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
	侵襲的陽圧換気の設定の変更		創傷に対する陰圧閉鎖治療
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
	人工呼吸器からの離脱		橈骨動脈ライン確保
	人工呼吸器からの離脱	透析管理関連	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレの交換	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
	一時的ペースメーカの操作及び管理	感染に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正
循環器関連	一時的ペースメーカーリードの除去	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与
	経皮的心肺補助装置の操作及び管理		インスリンの投与量の調整
	大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助頻度の調整	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
心嚢ドレーン管理関連	心嚢ドレーンの抜去		持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及び設定の変更		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整
	胸腔ドレーンの抜去	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整
腹腔ドレーン管理関連	胸腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。)		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整
ろう孔管理関連	膀胱ろうカテーテルの交換	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与
	膀胱ろうカテーテルの交換		抗精神病薬の臨時的投与
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去		抗不安薬の臨時的投与
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	皮膚損傷に係る薬剤投与関連	抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整

厚生労働省令第33号(平成27年3月13日)





## 私たちは特定行為看護師です

当院には現在特定行為看護師が6名います。4月1日には第4期生が修了式を迎え、10名となります。また第5期生の受講の開講式が行われました。

ただいま活動中!

### 特定行為看護師 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 山本 恵美子(第1期生)



院内外で糖尿病の対象患者さんを積極的に拡大し、インスリン調整の特定行為実践を行っています。

院内では、外来での糖尿病療養指導や糖尿病ラウンドでチーム医療を図り、急性期病院での血糖コントロール管理の一役を担っています。また院外では、栗津診療所で特定行為が実践できるようになり、患者へのタイムリーな血糖コントロール支援につながっています。

ただいま活動中!

### 特定行為看護師 創傷管理関連 西本 由美(第3期生)

2021年4月より当院第3期生の特定行為看護師として褥瘡患者の壊死組織除去や陰圧閉鎖療法を医師とともに実施しております。今後は皮膚・排泄ケア認定看護師の知識や技術も活かし特定行為が必要な患者さんに処置ができるよう日々研鑽していきたいと思っています。



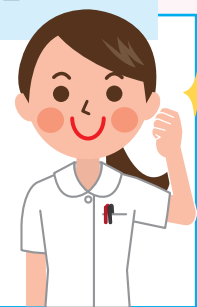
創傷管理の  
研修の様子



ただいま研修中!

### 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 高原 優子(第4期生)

NST専門療法士として院内の栄養管理に関わってきましたが、もっと栄養管理について深めていきたいと思い、2021年4月からこの研修を受講しています。学ぶことがたくさんあり大変でしたが、今まで得た栄養管理の知識と研修で学んだことを活かし、活動していきたいと思っています。





メディカルレポート

## 皮膚科

皮膚科医長

こばやし ただひろ  
小林 忠弘

## 【皮膚がんについて】

皮膚の悪性腫瘍は種類が多く、悪性度も様々です。皮膚の悪性腫瘍は、肺癌、胃癌、大腸癌と頻度の高い癌から数えて10番目にも入りませんが、皮膚という誰でも見ることのできる部位に発生するため早期発見しやすい病変です。皮膚科専門医は皮膚悪性腫瘍をダーモスコピーという拡大鏡で表面から観察することで、患者さんの体にメスを入れることなく診断できる場合があります。その代表的なものは基底細胞癌と悪性黒色腫です。基底細胞癌は皮膚癌のなかで最も頻度が多く、基本的にリンパ節や内臓に転移することはありませんが放っておくと徐々に局所を破壊しながら拡大します。しっかりと切り切れば完治させることができるので、サイズが小さいうちに発見して切除することが理想的です。一方、悪性黒色腫は比較的早期からリンパ節や内臓に転移することがあるため、手術だけでは制御できず致死性となることがあります。基底細胞癌も悪性黒色腫も多くの場合の見た目は「黒い色素斑、できもの」です。似たような外観の皮膚腫瘍として脂漏性角化症(=老人性のいぼ)や色素細胞性母斑(=ほくろ)があります。脂漏性角化症は液体窒素を用いた凍結療法で簡単に除去できることが多いのですが、誤って基底細胞癌や悪性黒色腫に対して凍結療法を行ってしまうと腫瘍そのものの所見/外観が凍結療法で破壊されてしまい、以後はダーモスコピーでの診断が困難となってしまいますので注意が必要です。一般的な医学用語として2cm未満のできものは「結節」と表現し、2cm以上のできものは「腫瘤」と表現します。当科では黒い色素斑や結節/腫瘤を訴えて受診される患者さんがおられれば、まずダーモスコピーを用いた視診を行い、

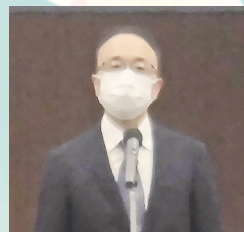


必要に応じて生検ないし切除を行って診断/治療しています。当科医師は私一人だけですので全身麻酔の手術は行っていませんが、局所麻酔の手術は行っていきます。皮膚腫瘍や皮膚癌が疑われる場合には、当科にご紹介いただければと存じます。

## 第14回 市民公開講座

# 小松市民病院のウィズコロナにおけるがん診療

令和4年3月5日(土) 13:00~15:00 芦城センターで2年ぶりに市民公開講座を開催いたしました。コロナ禍ですが43名の方が参加してくださいました。



新多病院院長挨拶

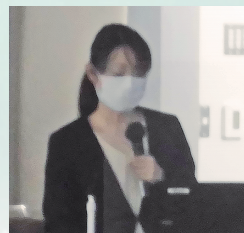
## 第1部 「小松市民病院 コロナ禍の院内感染対策について」

【座長】 感染制御室室長 金田 朋也

### 小松市民病院 コロナ禍の院内感染対策について

感染管理認定看護師 米多 弘子

コロナウィルスの院内への持ち込み対策として、早期から行ってきた職員への感染対策強化や患者さん・ご家族に向けての取り組みについての講演がありました。

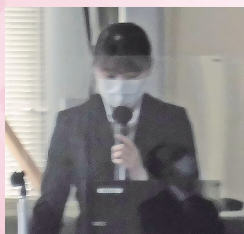
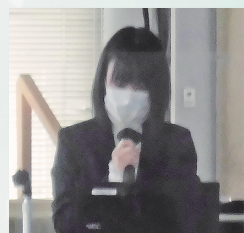


## 第2部 「コロナ禍でのがん診療」【座長】 診療部長 又野 豊

### 1. 外来化学療法室の取り組み

がん化学療法看護認定看護師 松本 真樹

外来化学療法に通院している患者さんが感染予防しながら、安心して治療が継続できるように外来化学療法室の環境や運営体制の見直しを行ったことについてお話がありました。



### 2. 化学療法への薬剤師の取り組み

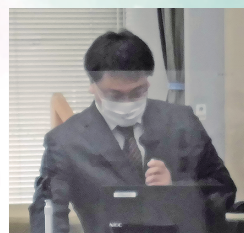
薬剤師 戸井 ひとみ

新型コロナウイルスの特徴や感染症が出現したことによる化学療法実施件数の変化や薬剤師の取り組みについてお話ししました。

### 3. 肺がんの最新治療

呼吸器内科医長 米田 太郎

肺がんの最新治療についてとコロナ禍における診療に留意していることを交えながらの講演がありました。





## 話し合ってみませんか？ あなたが大切にしたいこと

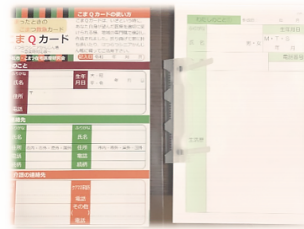
『人生会議』とは、希望する医療やケアについて、前もって自分自身で考え、家族や信頼できる人、医療介護関係者と繰り返し話し合い、共有しておくことです。

希望する医療やケアを受けるために、大切にしていること、どこで、どのような医療・ケアを望むかを、前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。

「縁起でもない」、「そんな話はしたくない」と思うかもしれませんが、自分自身やご家族のためにも元気なうちに話し合ってみませんか？  
「何を話せばいいの？」と困りますね。

そこで、小松市が作成した

**はつらつシニアかんじん帳** をご紹介します。



手帳の中は、ご自分が望んだ医療を適切に受けられる様に、地域の専門職の方が検討し作成されたものです。

ご自分の事が記入できるページがあります。

その中に **わたしの願い** というページがあります。

- ・もしもの時に望むこと
- ・がんなど重い病気になったとき
- ・食べられなくなった時 など

わたしの願い 「がんなどの重い病気になったとき」	
作成日:	4 月 日
今のあなた様は?	<input type="checkbox"/> 非常に健康・体調良好・あまり健康でない・健康でない
私に何名や治療などを返して欲しい	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
家族( )に病名や治療などを返して	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
欲しい	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
<input type="checkbox"/> 医療や介護サービスを利用しながら、最後まで自分で過ごしたい	
<input type="checkbox"/> 病院に入院したい	
<input type="checkbox"/> 家族( )の希望に任せる	

記入例(実際に記載された内容)

- ・生きる時間が短くなっていいので、なるべく動ける体でいたい
- ・痛みがなく安らかにいきたい
- ・その時まで自宅でゆっくりすごしたい・・・  
でもバタバタあれもしたい、これもしたいと言い出すかもしれない
- ・自宅で静かに眠るように、できれば夫や子供にそばに居て欲しい
- ・家族には迷惑かけたくないので、最後は病院で

**あなたが大切にしたいことを  
ご家族や大切な方と  
話し合ってみましょう。**



はつらつシニアかんじん帳は小松市民病院にもあります。外来受付でお尋ねください。

小松市民病院看護部 認定看護師会 ACPチーム

# お知らせ

○ 4月1日からつながるサポートセンターが「**地域医療支援室**」と名称を変更いたします。これまで以上に、地域・介護等の連携および充実強化を図ると共に、業務内容が分かりやすい課名の表記にすることになりました。

○ **入院支援センター**が広くなりました。

今まで感染対策を行いながら、人数を制限し入院が決まった患者さん・ご家族の方に入院前の支援を行ってきました。お部屋が広くなった分、オリエンテーションを行う人数が増え、お待たせせずオリエンテーションが可能となりました。



## 編・集・後・記

先日第14回市民公開講座に参加しました。コロナ禍になり、研修がほとんどオンラインになり、久しぶりの対面研修でした。オンライン研修は自宅でもでき便利ですが、今回久しぶりの対面研修でその場の臨場感が伝わり、よかったです。ウィズコロナで感染対策に注意しながら少しずつ対面研修も増えていくといいなと思いました。(高原)



国民健康保険 **小松市民病院**



〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60番地  
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155  
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>  
E-mail [cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp](mailto:cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp)